



PICK UP! 給食で知る「ふるさとの味」 小学校で噴火湾産ホタテと香川県三豊市の郷土料理登場

町内の小学校の児童が「ふるさとの味」を取り入れた特別な給食を味わいました。食育を通じて地産の食材の魅力を広めて消費拡大を図ろうと、噴火湾胆振海区漁業振興推進協議会が例年、提供している噴火湾産のホタテを使用した献立が並びました。

洞爺地区は1月30日に「ホタテのソテー」、虻田地区は2月4日に「ホタテのカレー」が児童のもとへ。虻田小の各教室ではおかわりの列が伸び、3年の宮下岳大君は「ホタテは海の匂いがして甘くておいしかったです」と地元の海の味を楽しんでいました。

とうや小学校では、友好都市提携を結んでいる香川県三豊市の郷土料理「肉もっそ」も登場。牛肉とゴボウやニンジンなどの野菜を合わせた炊き込みご飯で、児童は物珍し気にはしを動かしました。6年の毛利康幹君は「野菜がたくさん入ってて栄養がありそうです」と口いっぱいにはおぼっていました。



肉もっそを味わう児童（とうや小）



ホタテカレーの列に並ぶ児童（虻田小）

12/17 あやしい詐欺には気を付けて！ 歳末地域安全運動

洞爺湖町防犯協会（水戸光彦会長）の歳末地域安全運動が行われ、地域住民に犯罪への注意を呼びかけました。この日はAマートとうや湖店、ウロコ虻田店で防犯グッズなどを配りながら、SNSを利用した特殊詐欺などに警戒するよう、啓発運動を行いました。12月16日にはとうや水の駅、セイコーマート洞爺店で同様の活動を行い、地域の安全確保に尽力しました。



A マートとうや湖店で行った啓発運動

12/16 お兄さん・お姉さんと楽しい時間 入江保育所と虻田中が交流

入江保育所の園児が虻田中学校の生徒との交流を楽しみました。虻田中の家庭科の授業の一環として2024年から行われており、今回は3年生が保育所を訪れました。生徒は学校で作成した紙コップや牛乳の空き箱を使ったおもちゃを持参。中には卒業生もあり、懐かしい保育所の中で園児におもちゃの遊び方を説明し、楽しい時間を過ごしていました。



虻中生と遊ぶ園児

1/21 持続可能な社会のために 地球温暖化対策推進セミナー

洞 爺湖町地球温暖化対策推進セミナーが、役場防災研修ホールで開かれました。環境省北海道環境パートナーシップオフィスの宇山生朗氏が講師を務め、カードゲーム方式で二酸化炭素の排出削減策を考えました。

このゲームは、具体的な排出削減策と同時に実行するための資金調達なども考える内容。参加者は、町内での環境対策を実現しようと活発に意見を交わしていました。



環境対策のアイデアを出し合う参加者

12/22 地域に伝える感謝の気持ち 桜ヶ丘保育所がプレゼント配布

桜 ヶ丘保育所の園児が、洞爺湖温泉地区の事業所を回り、日ごろの感謝を込めてプレゼントを配りました。

サンタクロースのような真っ赤な帽子をかぶり、温泉地区の会社などを訪問。洞爺湖温泉郵便局では、子どもたちが手作りのサンタクロースのオーナメントを手渡しました。かわいらしい贈り物に、受け取った堤康之局長も顔をほころばせていました。



プレゼントを渡す園児

1/27 役割を再確認 民児委員自主研修会

民 生委員児童委員協議会（永井宗雄会長）の第3回自主研修会が健康福祉センターさわやかで行われました。

約20人の委員などが参加しました。北海道民生委員児童委員連盟胆振支部の村上信治事務局長が講師となり、自身の経験談を交えながら「民生委員児童委員としてやってはいけないNG行動」などを紹介。住民から相談を受ける際の基本姿勢について改めて理解を深めました。



研修会に参加した委員

1/21 磨いた名人芸が続々 新年演芸交流大会

洞 爺湖町老人クラブ連合会の新年演芸交流大会が、洞爺湖文化センターで開かれました。

連合会所属の老人クラブ8団体が出演。カラオケや合唱、舞踊などで観客を楽しませました。六区寿会による演歌で幕開けすると、睦会は芹洋子の名曲「四季の歌」を7人編成の合唱で披露。息の合った歌声で会場を盛り上げると、他のクラブも朗々と持ち曲を歌い上げていました。



合唱を披露する参加者